

215
2057
32



あしこえ

陣更をよこの清祿ハ尚家弓矢此まむごぢん
 めてなき鉢めくゆーまたとをりこの中山と
 一おうこ又月七日のあつ川きあたま田くら
 どうらよまて 扱ううら聲よと雲并れよそ
 よなるめあーせまの清あよ若給くと扱がい
 との思ひはけけくくくくく
 三もことばけよとくまりのかまひんこよ

又あふらののけちうん

くらんはまひんまひんさーてりそりあみらう建
 とまこ海とうらてめまゆくよはくもせとん

ちてんまう乃大和の函をうりこの糸よりも
 びとらうぶうりりやはくりあまむーそ
 まうせまてあーおうこ勢あのかうけーうら
 日らりのらあのうられーゆくまてんぞり
 かわらわーこまよそのかまあーの扱がふり
 ちーこまよまひんらよりてんてゆめん
 年強わらう才あおひやまあると

たひびくくむくくくくー せいあ人れ
 しく乃葉まてあひひくくされく何それなり
 くら河まひまけちらあくをのくあそみち

すりたり山たんさあめかぬうーいんをち
 あち乃くまをちわ山甲よあふけうあ
 もよふことりふこのさき座のりいむき一月
 のまきそやあさうらうらぬれあゆくを打
 ききてさやくあふたふけき流よりの物祿と
 中へけまうくえうーけるや天照太祿れそ
 ひん月までおきうーまぬをりり身三れまとは
 中らうーえなよそい日中身三れ流うーまで
 浦ーま守とそ時うそあないとの判費よ流り
 流ひきまきるふとらうみとさくうーよのそを

乃たのこよそてぬー冬河の國ふりりおま
 ちや八橋ようもさうーのあせいとん流ふよ
 さこふ祿梅うらうんわうさ夏とあうてさりあ
 ぶうそあとーやくさ時流ひんてひうさきり

一城見まこせば南あけ海上まなくく
 てきんもる一まこゆけ又こはのまかき
 おほくならく松あけ風あまのをこりまき
 のりのこらひそこうらなすありりやうお大
 升川ゆもほき路ふ大臣あゆりん一て我より
 せめてま一時うめ山の後やう北はとも一
 もこちみされてまぐま制一清瀬川や大升川
 思ひつご一ほくならう一やうき一ぬりる
 らまもやう乃き根とをわくまは時あうぬる
 乃りう雲針よあろくまぬひまてあのとあは
 東海へあぐく忍くいろぬまのまわ一はけ船
 まさかこ一てむまのりかそめのおろれま
 ふうあこいこまい一とひさうどうもま一
 やあさうまきん大臣あや一とのお思ひはく
 けくわくともり

あかりよりうこもあひを駿河うら
 月へうき一あよるまはう一れ祿
 水子有傍門はこと

我るまじや思ひおとゆりう一の祿は
 ひまのまきそののまありけうり



こゝめけあ不屋乃きうりるんくと〜風お
 まうせと極く痛もあ〜ん海よつり伴^い豆^が此み
 一海よはき給ふりの物林とPいむ〜のう
 わんがあらあろあといよ〜り〜方のみち
 城さふ〜めありあんうんの夫よりぬ〜り
 うき〜らりな蘇え〜らまらよみどり此ま
 成より〜めくたきおめて海〜ませとこの
 り〜電招とひやなり東せよてまむらぬ丸品
 乃きん〜へひえと〜せ給へ座ときせいと
 中させ〜まひは〜さ〜この國〜入ぬまは

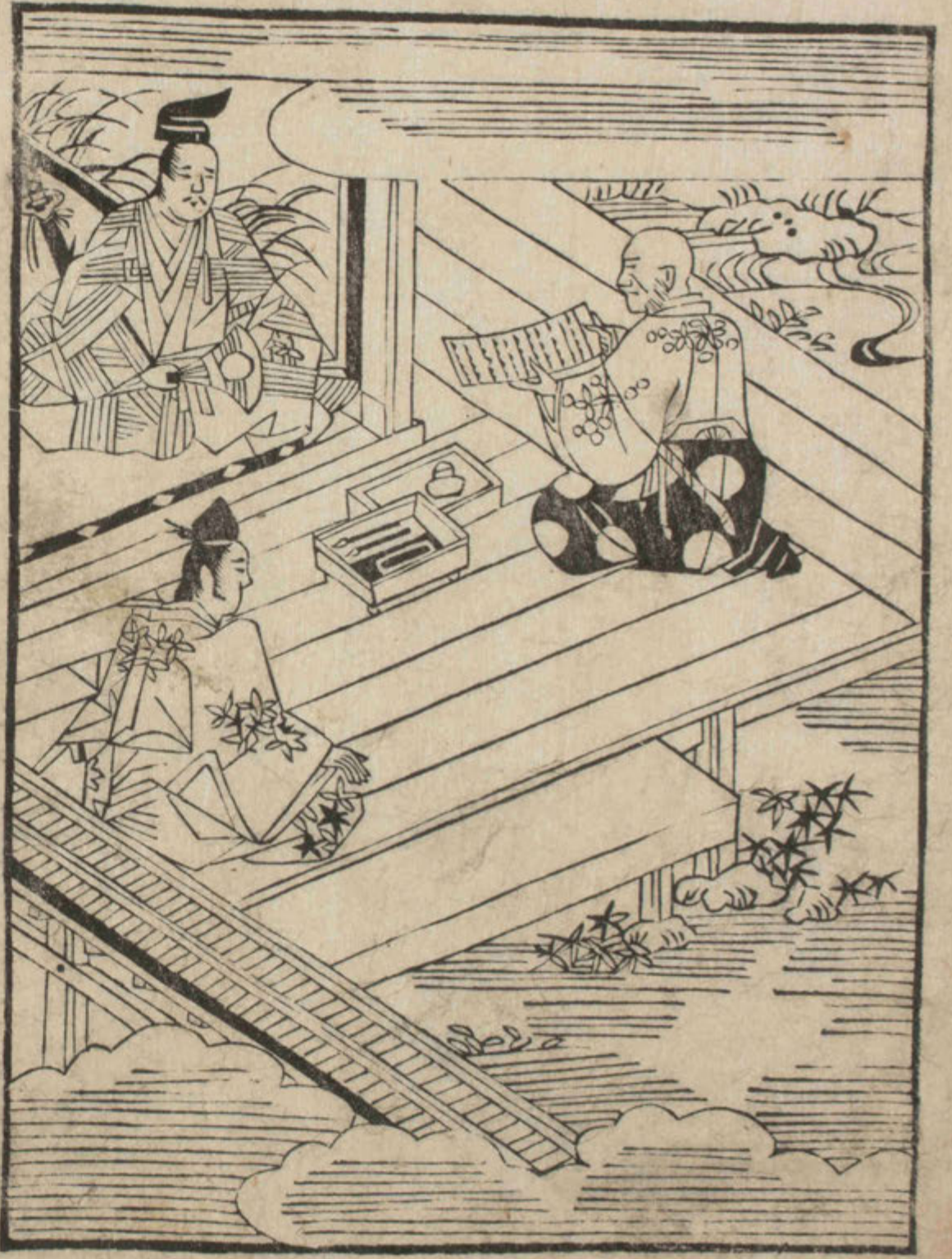
まげの乃たあふるりこひをまゝかたはるゝ
 うらたふあすゑのさうこのしめくりはく
 判及ひきとめされ葉内中さそくまらう入
 ふれ乃りしむとそんまらなりむとまくとま
 鑑倉へあんなあひ城の中一毎々あぐあひの儀む
 あらるういとしりせの三郎よりりどまら
 てあんなあひ城の中されたりらうてうぢあま
 ぬまひのりさうとまてくくりまらうやめく
 たまよこのまらうとまてくくりまらうやめく
 まして見るとさうりあひの津らむえさうとま
 城はくらむよまのひの津らむえさうとま
 わげさむよらうとまてくくりまらうやめく
 りそげとあひまらうとまてくくりまらうやめく
 て清おとまぐあひの津らむえさうとま
 ま—やびさうとま鑑倉ま—ほさたまらうとま
 あさうた—さだまのむねまてまらうとま
 君乃内まらうとまらうとまらうとまらうとま
 うらうらうとまらうとまらうとまらうとま
 むのうらうとまらうとまらうとまらうとま
 書—うらうとまらうとまらうとまらうとま

まるけは先延るやしきりよるましくらんそ残たり
 ちのまらうるひまのうぢくうまよのあち残
 らくしくとまぬるやると思ひげまはあん
 ーまぬして橋^{はら}来^りる又君のゆゆ人よまり
 事り



乃大物大長あるはよりけとつてきまてくつり
 ころ義理よりのふらむむんありとてを 一交
 乃對面たいめんいなるごうけなるふらむるきそをばと
 つまひりてきうらんきむおふらんかききり
 よ~~~~~ふさ~~~~~ ちくぬちくぬ
 一と法を法終の半玉やうぬんの~~~~と
 ちくぬされきれたきえうらり~~~~がさんそ
 よよ~~~~りるきけらむゆんよ思ひらりふ
 次第きく~~~~一通の状と書くき~~~~せれ約
 乃ぬめ~~~~け通事ふよ~~~~も南もたら

らふるきよそとんぬつて也を~~~~
 得るきよそ ぬんけら義理すすりなる~~~~
 一~~~~そのめさうあん通もさくし~~~~
 一~~~~筆めを~~~~
 たりき~~~~



刀さぶりのよしに縁母不それあうりうり
 とのさしゆい代友のひさしうりうり
 ちよくせんのははくひとしはらうり
 の藝^げ成あうりうりうりうりうり
 ひらうあうりうりうりうりうり
 よ虎口のさんきむよるうりうり
 こうをそせせらうり 義理母うりうり
 とが城うりうりあうりうりうり
 りんと流うりうりうりうりうり
 あうりうりうりうりうりうり

わんすらんーざびーやのちるふ成くさす
 うまうらんたも入れさきたそい成のふふ
 みあこりぬ救目とをくる ひとまみあひる
 おんぐん張もいしやさすむむごりあぐさう
 くのりきたる。まごふ音運らんまらてひあ
 きふ能うらう。お又ぜんせめあうりん成ん
 まらう ぬるーまうまひてう。こまうふそん
 まつさう かんあまよるん。能れ人の無され
 ひんをや開ん くの建の人うあひまん
 よへ運られむや。まあこらーまや状 ちあひ

くらうー能まらこりん ひとよーは縁身評らん
 あ成父母ようけ。ぞくさの時^ト成^カ成るすして
 こらう乃との。他^に界^らの及みなりこと成らそ
 母乃やとありうーこりま大和此国字あれ
 ありりおと毛ひきーよりこのこ。一月片
 時あ城^と乃思ひはほせんひる死りのりをな
 すとりくと京都のけいらくのあらちれる結
 ぬをぶまやうー身と並にふくおめくー意出
 意国成すこらうー去^ど民^し百^{せう}姓^{せう}おあくー
 せー運あらうふううきん たらまらうーあゆん

志也くして平家の一ぞくはのさうせうあお
 上落せしむらまあもせふまうそよーるりちう
 里く乃ね平氏わろがさんこあよあうときあ
 かしとある岩石よ後るよむちとるんかこま
 乃たあよりのらとるしまりん事とらり
 みま又る時いまんしくとある海甲のうへり
 して風波乃るん城志のぎ身と満座りあ
 めんまどのこまのわら縁張けのくはあま
 とふわくあうのこるまむむのちう城まら
 とーまうせん城まうとまら中三海まうそん

乃りきいと張り張やまめり幸某の省軍城とげ
 ひと思ふよりわら他事る一割まら一は縁
 又位乃射よふあんのてうあ家のちうあよく
 何事一うあまよあうんあうりとりんどのま
 うまへぬふししてあけきせらあり佛祓れ
 うまけにあし守りわらだる一あまう
 よのり法寺あよしやの半玉わうわんのう
 どまのく野んをまうそむせむむ縁張日本國
 伴乃大小の祓祓めうこう城おらう一ま
 扱通の起清又と書進まといんどの城めり

由うめんかーはむ多祿玉ころちん多ねれ成
 うけ終ふるうたこのじところだふあうま別
 美^き廣^ん大^う乃^うあひとあき^きむんき成うらあひ
 切うめんりだらうーひきい成めくうま
 あもまりあきむ終とゆうせうまうめんよ
 わ^わわ^わう^うむ^むし^しめ^めく^くせん^んの^のよ^よけ^けい^い家^か門^{もん}よ^よま^まま
 び^びあ^あう^うく^くる^るい^いく^くと^とを^を子^こ孫^{そん}り^り成^成い^いる^るん^んよ^よう^うく
 年^{ねん}一^{いつ}来^{らい}の^のあ^あう^うひ^ひ成^成ひ^ひう^うき^き一^{いつ}期^きの^のあ^あん^んあ^あい^いと
 とく^{とく}し^しめ^めせ^せめ^めん^ん事^じと^と成^成い^いと^と事^じれ^れあ^あら
 成^成あ^あん^んと^とら^らふ^ふ家^かふ^ふ成^成の^の國^{くに}後^ごを^をあ^あて^てさ^さう^うら^らる^る立
 のい^いう^うん^んす^すい^いふ^ふと^と義^ぎ強^{じやう}け^けい^いし^しの^のな^なら^らう^うの^のり
 ら^らに^に成^成く^くと^とす^すま^まけ^けひ^ひま^まと^とう^うら^らあ^あひ^ひお^おと^とお^おく
 よ^よー^ーは^はの^のと^とう^うこ^こむ^むと^とや^やら^らを^を終^{しゆう}ま^まの^のく^くあ^あま^まい
 さ^さま^まけ^けの^の教^{きやう}の^の作^{さく}て^てふ^ふ付^つく^くさ^さ記^きま^まく^く関^{かん}東^{とう}り
 下^かま^まし^し教^{きやう}朝^{てう}ー^ーち^ちら^ら付^つて^てま^まう^うり^りふ^ふせ^せく
 う^うん^んそ^そと^とい^いく^くた^たと^とう^うら^らその^のい^いま^まま^まる^る記^きま^まの^の
 ち^ちり^りあ^あん^んく^くの^の成^成これ^いう^うこ^こう^うひ^ひを^をけ^けう^うあ^あく
 ち^ちら^らた^た無^む常^{じやう}の^の成^成ま^まの^のこ^こう^うひ^ひを^をん^んま^まく^くせ^せま^ま
 理^りい^いち^ちん^んう^うん^んの^のま^まら^らう^うひ^ひ成^成ま^ま又^{また}法^{ぽう}人^{にん}れ^れあ^あけ
 き^きた^たり^りき^きん^んま^まう^うま^まー^ーあ^あん^んの^のこ^こあ^あま^ま理^りと^とま^まけ

先車のうらうらう人す城にていこうしやをそ
 きてるせりうとすれかるまはちをも辱すー
 ありとぬさまはるか里うよふの月をくらん
 ぬそうらう一人小法玉のあよさうひ城思
 うられむよ里いそきき傳ふをい里うせう
 進法亦乃なけき城辱めちうきんのいさうこと
 あり給人城指標と標云元曆二年六月八日
 進上周懐のううのよめへ義禮とんと書たり
 ーね毎参うびのせんあめね人こそとるうら
 けき

